

夏まるかじりツアー①

8月4日(木) ~ 8月6日(土)

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	川遊び	レクリエーション
2日目	野外炊飯	グループタイム	キャンプファイア
3日目	清掃・思い出工作	施設を出発・解散	

一日目: キャンプ初日は、メンバーが各集合場所から尼崎駅に集まり、全体で挨拶をした後に施設に向かいました。バスにはグループごとで乗り込み、三日間一緒に過ごすメンバーと顔を合わせ、緊張しながらも自己紹介をし合う様子が見られました。施設に到着したら、まずは各自持参したお弁当を食べ、その後は水着に着替えて川遊びへ向かう準備をしました。マイクロバスで川へ移動し、準備体操をしてから川に入りました。その日は気温が高かったため、川の水の冷たさがとても気持ちよく、水の掛け合いなど各々楽しまれていました。グループミッションの写真撮影では、一緒に川で遊ぶ事を通してどのグループも午前より打ち解けた表情を見せておられました。川遊びを終えて施設に戻り、着替えた後は施設の使い方についてのオリエンテーションを受けると、あっという間に夕食の時間になりました。この日の夕食は食堂でいただきました。バイキング形式の食事に目を輝かせながら、メンバー皆美味しそうに食べておられました。食事・入浴後はナイトハイクを予定していたのですが、天候が優れなかったため、予定を変更し屋内でレクリエーションを行いました。自己紹介ゲームを通して改めてお互いの事を知ったり、皆でダンスを踊って盛り上がりたりと、メンバー同士更に仲を深めておられました。レクリエーション後は部屋に戻って就寝準備を行い、初日は体を動かす活動が多かった為かすぐに眠りにつかれました。



二日目: 二日目の朝、起床時間になると各部屋から元気な声が聞こえ、リーダーと挨拶を交わして身支度を進めておられました。この日の活動は野外炊飯場からスタートし、朝から野外炊飯尽くしの一日でした。朝食は“パックドック”で、グループ内で作り方を確認しながら作っておられました。完成するとバナナとジュースも併せてべろりと食べきっておられました。朝食の片付けを終えると、次は“カレー作り”に移ります。各グループの中で【野菜係】と【お米係】、【かまど係】の三つの担当に分かれて調理を進めました。【野菜係】は刃物の扱いに十分気をつけながら取り組まれ、野菜の切り方には各グループの個性も見られました。【お米係】は、米研ぎをする際、お米を落として無駄にしまわぬよう慎重に取り組む姿が見られました。かまど係は、薪組の仕方をリーダーから教わりながら真剣に火付けに取り組まれ、ようやく火が付くと達成感を感じておられるようでした。どの係も分からない事は教え合ったり、出来ない事や難しい事は助け合ったりする姿が見られ、異年齢のメンバーで構成されたグループでの協働作業だからこそ見られる、支え合いや助け合いの場面が沢山ありました。また、途中雨に見舞われましたが、屋根の下で作業を進め、ほとんどのグループが目標としていた時間内にカレーを完成させる事が出来ました。出来上がったカレーをお皿いっぱい盛って美味しく頼張っておられ、どのグループも完食しておられました。昼食後の片付けでも担当を決めて協



働する様子が伺え、使用した食器や調理道具の油汚れを丁寧に落としたり、煤を隅々まで落としたりする姿が見られました。片付けが完了すると一度部屋に戻って休憩してから、夕食までの時間はグループでフリータイムとしました。広い部屋に移動して遊ぶか部屋で休憩されるグループが多く、思い思いに過ごされていました。入浴と夕食を済ませると夜はお楽しみのキャンプファイヤーを行いました。リーダーによる様々なファイヤーレクリエーションに笑ったり、一緒に声を出したりと、皆力いっぱい楽しんでおられました。最後に『学園天国』に合わせて踊ったダンスは一際盛り上がり、皆のテンションが最高潮になったところでキャンプファイヤーを終えました。楽しかった余韻が残る中、各部屋に帰って就寝準備を行いました。いよいよ明日が最終日ということで、名残惜しく感じながら過ごすメンバーもおられました。



三日目： 最終日の朝は、各グループ早々に身支度を終えると部屋の清掃を行いました。高学年を中心に自分が出来る事を常に探しながら動く様子が見られ、お世話になった施設に感謝の気持ちを持ちながらてきぱきと掃除をしておられました。清掃を終えると、食堂で朝食をいただき、一日のエネルギーを補給しました。最終日のメインプログラムは焼き板工作です。一人一枚木の板をガスバーナーで焼き、ブラシで煤を落としてからそこに三日間の思い出を描いていきます。ガスバーナーを初めて使用するメンバーも多く、少し緊張した面持ちで板を焼く姿が見られました。板を全面十分に焼いてから煤を落とすことで木目がはっきりと浮かび上がり、メンバー達はその変化を楽しみながら丁寧にブラシをかけておられました。絵を描く工程では、どのグループも思い出話に花が咲き、和気あいあいとした雰囲気を取り組まれていました。焼き板が完成した後は、食堂で最後の昼食をいただき、皆残さず食べておられました。最後に退所式を行い、全体で三日間を振り返ると共に、施設への感謝を込めて挨拶をしました。雄大な倶留尊山を背景に全員で集合写真を撮影した後、バスで施設を出発しました。尼崎駅で解散式を行い、三日間共に過ごしたグループのメンバーやリーダーとの別れを惜しみながら、また会えるようにという気持ちを込めて「まったね～」の挨拶をして、それぞれ帰路に着きました。



<キャンプ総括>

“夏まるかじりツアー①”にご参加いただき、誠に有難うございました。三日間天候が不安定な場面もありましたが、無事にキャンプを終える事が出来ました。夏まるかじりツアーはTHE野外活動というようなプログラムが盛り沢山で、参加者一人一人がひと夏の思い出を作る事が出来たのであれば大変嬉しいです。また、キャンプに参加して終わりではなく、この二泊三日の出来事を私生活にも活かしていただきたいという思いがあります。キャンプ中はただ楽しむだけでなく、時間を守ったり、グループで活動することで周りのメンバーの事を考えたりと、意識しなければならない事が沢山あったと思います。このキャンプを通して考えた事、行動した事で得たものが身に付くことで初めて体験が経験へと変わります。参加者の皆様には、是非学んだことを経験へと変えて過ごされる事を願っております。

(生田 千恵)